



Title	彙報
Author(s)	
Citation	懷徳. 1979, 49, p. 71-72
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/90580">https://hdl.handle.net/11094/90580</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 彙報

## (懷徳堂記念会)

○秋季講座 昭和五十三年十月二十三日(月)より二十八日(土)まで、本会及び大阪大学文学部主催、朝日新聞社後援で、大阪大学松下会館四階講堂に於て、毎日午後六時半より八時まで、第五十七回懷徳堂講座開講、聴講者延二百十人。

### 演題と講師

幕末日本人の中国觀	京都大学名誉教授	日比野丈夫氏
イスラムの地理思想	大阪大学助教授	高橋 正氏
宣長と篤胤	同	子安 宣邦氏
古代の中国農業	滋賀大学教授	米田賢次郎氏
中国社会と商業	大阪大学助教授	斯波 義信氏
唐中期の仏教と国家	京都大学助教授	礪波 護氏
○記念祭典 昭和五十三年十一月十日(金) 大阪大学松下会館四階講堂に於て、午後一時より祭典執行、終つて追手門学院大学教授今井宇三郎氏の「復其見天地之心乎」と題する講演があった。		

○勝本鼎一氏(評議員) 昭和五十四年一月六日逝去。謹んで哀悼の意を表す。

○春季講座 昭和五十四年五月二十一日(月)より二十六日(土)

まで、本会及び大阪大学文学部主催、朝日新聞社後援で、大阪大学松下会館四階講堂に於て、毎日午後六時半より八時まで、第五十八回懷徳堂講座開講、聴講者延二百五十人。

### 演題と講師

善導大師の至誠心	仏教大学学長	水谷 幸正氏
明治初年の堺県と小河知事	大阪大学教授	山中永之佑氏
菅原道真の詩	和歌山大学教授	菅野 礼行氏
西村天因と懷徳堂	東京大学教授	戸川 芳郎氏
中国地図史における近年の発見	奈良女子大学教授	船越 昭生氏
「詩経」と歌垣	大阪大学教授	吉田 恵氏
○昭和五十四年六月一日 住友銀行より「懷徳堂の過去と現在」三千五百部寄贈を受く。		
○昭和五十四年六月四日 幹事南雲龍夫氏退任。		
○昭和五十四年六月四日 古田完氏(住友銀行秘書室長)幹事就任。		
○昭和五十四年八月二十五日 理事若槻哲雄氏理事退任。		
○昭和五十四年八月二十五日 山村雄一氏(阪大学長)理事就任。		

○懷徳堂記念扇子調製 昭和五十四年十月

狩野君山先生墨迹

「清明時節雨紛紛 路上行人欲斷魂  
借問酒家何処有 牧童遙指杏花村」

(堂友会記事)

昭和五十三年十月三十日 懷徳第四十八号発行

十一月十九日 近江路信楽町方面 紫香楽宮趾 信楽焼窯元、春日神社、常信寺、富川大磨崖仏、法楽寺、佐久奈度神社の見学会をなす。御指導は宇野茂樹文学博士で参加四十名。毎々乍ら一同満足して秋の一日を楽んだ。

昭和五十四年四月十五日 滋賀県大津市と守山市方面、盛安寺、浮見堂、居初庭、真光寺、善立寺、観音寺、常教寺、蓮海寺への一日見学会を催し、宇野茂樹先生の相いも変らぬいとも御懇切な御指導の許に極めて有益な見学会をなす。参加四十六名。

七月十四日から十五日にかけての一泊見学会をなす。

第一日は近江八幡市方面の莊嚴寺、日牟礼八幡宮、近江八幡史料館、円満寺、宝珠寺、長命寺を廻り、兆楽観光ホテルで泊り、愉快な会食をなす。

第二日は蓮長寺、仏法寺、蓮乗寺、福寿寺、冷泉寺を拝観して非常に愉快で且つ有益、矢張講師はお馴染みの宇野茂樹先生である。参加者は三十四名。

本年度中、五月二十五日、委員の三原辰之助氏、十月八日、名誉会員の清水潔先生が急逝されました。また昨秋木原富蔵氏が亡くなりました。謹んで哀悼の意を表します。次に本会のために復々多大の寄附金を賜った方々に対して有り難くお礼を申し上げます。木村会長御夫妻様、中野杜充子様。

新入会の方々木岡清、八木福子、仲谷芳子、甲賀起世子、本田弘、川崎喜三郎、美津子、水野恵司、榎本和子、薄葉はな子、待田昭子、沼田千代子、大岡政子、西廻マスキ、西宮重和、城本和俊、布引道夫、山口雅弘、中川芳江、樫田悦子、大野垣嘉代子、久保栄一、幸寺寛、小林和彦、関滋、高倉喜美子、名倉仙蔵、西田奎、西村寧、八田英雄、西川テール(以上三十一名様敬称略)

退会の方、中橋久馬氏

会員数が丁度百八十一名様、会長をはじめ名誉会員の方々を含めての盛況、御同慶至極に存じます。(中島記)